

## 1773年 ロスチャイルド世界支配計画

**初代ロスチャイルド マイヤー・アムシェル・ロスチャイルド**（1744年 ドイツ・フランクフルトのゲットー生まれ）が30歳のとき、フランクフルトに**12人の実力者を集めて秘密会議を開いた**と言われている。ここで、全世界のマンパワーと資源を独占的に支配するための計画が話し合われ、**25項目からなる「世界革命行動計画」と呼ばれるアジェンダ（行動計画書）がスタート**した。

1. **人間を支配するには暴力とテロリズムに訴えると最善の結果が得られる。** 権力は力の中に存在している。
2. **政治権力を奪取するには「リベラリズム」を説くだけで十分**である。そうすれば有権者は一つの思想のために自らの力、権力を手放すことになり、その放棄された力、特権をかき集めて 手中に収めればいい。
3. 大衆はどのようにして自由を享受すればいいのかわからない。**「自由」という思想を利用すれば「階級闘争」を生じさせる事も可能だ。**
4. 最終目標に到達するためには、ありとあらゆる手段を正当化出来る。率直さや正直さといった国民としての立派な資質は政治に支障をきたすから、支配者となろうとする者は狡賢さ、欺瞞に訴えなければならない。
5. 我々の権利は力の中にある。私が見出している新たな権利とは、強者の権利によって攻撃する権利であり、既存の秩序、規律のすべてを粉碎し、既存のすべての制度を再構築する権利である。
6. 我々の富の力は、いかなる狡賢さ、力によっても損なわれないような強さを獲得する時まで、表面化しないよう保たなければならない。戦略計画の基本路線から逸れることは何世紀にも及ぶ営為を無にする危険がある。
7. **群集心理を利用して大衆に対する支配権を獲得すべきだ。**
8. **酒類、ドラッグ、退廃的道德、あらゆる形態の悪徳を代理人を通じて組織的に利用することで、諸国家の若者の道徳心を低下させなければならない。** 賄賂もペテンも裏切り行為も、それが我々の目的達成に役立つのであれば、続けられなければならない。
9. そうすることで服従と主権を確保出来るなら、何がなんでも躊躇うことなく財産を奪い取る権利が自分たちにはある。
10. 我々は**「自由・平等・博愛」という言葉を民衆に教え込んだ最初の民族**である。ゴイムは難解さゆえにこの言葉の意味とその相互関係の対立に気付くことさえない。ゴイムの自然発生的で世襲的な貴族社会の廃墟の上に、我々は金による貴族社会をつくりあげた。それは我々の拠り所、すなわち富を参加資格とする貴族社会である。（※ゴイムというのはゴイの複数形で、ゴイとは非ユダヤ人のことを指す。また家畜とかブタという意味もある。）
11. **自ら戦争を誘発しながら、敵対するどちらの側にも領土の獲得が生じない平和会議を主導しなければならない。** 戦争は対立する双方の国家がさらに負債を抱え込み、我々の代理人の手中に落ちるよう主導されなければならない。
12. 財を活用して、我々の要求に素直に従い、ゲームの駒となって、**政府を陰で操ることを我々から任じられた人物を選ばなければならない。**
13. 誹謗、中傷、偽の情報を流したことでどのような波紋が広がろうと、**自ずからは姿を隠したまま、非難されることがないようにしなければならない。** 大衆への情報の出口すべてを支配すべきである。
14. **貧困と恐怖によって大衆が支配された時には、常に代理人を表舞台に立たせ、**秩序を回復すべき時が来れば、犠牲者は犯罪者や責任能力のない人々の犠牲になったと解釈されるよう、事を進めなければならない。計算済みの恐怖支配が実現した時点で、犯罪者や精神異常者を処刑すれば、**我々自身を抑圧さ**

**れた人々の救世主として見せかけることができる。**実際のところ、我々の関心は正反対で、減らすこと、すなわちゴイムを殺害することにある。

15. 我々の力を行使すれば、失業と飢えがつくりだされ、大衆にのしかかる。そうすれば、**確実な資本支配力が**生じる。
16. **フリーメーソンのブルー・ロッジ内部に大東社を組織して破壊活動を実行**しながら、博愛主義の名のもとで、自らの活動の真の意味を隠すことは可能である。大東社に参入するメンバーは、ゴイムの間に無神論的唯物主義を広めるために利用されなければならない。（※フリーメーソンには33階級あって、下から三つが徒弟・職人・親方という階級になっている。この3階層のことをブルー・ロッジと言い、つまり一般的なフリーメーソン会員の集会場という意味である。大東社というのは英語で Grand Orient Lodge であり、Grand には統括するという意味がありますので、東洋を統括する支部ということだと思われる。現在はフランスのフリーメーソン本部が Grand Orient Lodge と名乗っている。）
17. 代理人は大衆受けのするスローガンを生み出せるよう訓練されなければならない。大衆には惜しみなく約束しなければならないからである。約束された事と反対の事は、後になれば常におこなえる。
18. **恐怖支配は、手っ取り早く大衆を服従させるもっとも安上がりな方法だ。**
19. **すべての戦争のあとには、秘密外交が主張されなければならない。**秘密外交によって、我々の代理人が関わらないかぎり、諸国家は些細な個人的取り決めさえも結ぶ事ができないような支配権が確保されなければならない。
20. **最終目標である世界政府**に到達するためには、大規模の独占、莫大な富の蓄積が必要とされるだろう。
21. **ゴイムからその不動産、産業を奪うため、重税と不当競争を組み合わせてゴイムの経済破綻を引き起こさなければならない。**国際舞台においてゴイムが商売ができないように仕向けることは可能である。つまりは原材料の巧みな支配、短時間労働および高賃金を求める労働運動の普及、競争者の助成によってそれは実現できる。
22. 最終的には、我々の運動に尽くす少数の金持ち、および我々の利益を守る警察と兵士と、プロレタリアートの大衆が残ればいい。ゴイムに殺し合いをさせるため、大々規模の武器増強が開始されなければならない。
23. **世界統一政府のメンバーは独裁者によって任命**され、科学者、経済学者、財政専門家、企業家、大金持ちの中から選出される。
24. 代理人はその誤りを我々が承知している理論、原則を教え込むことで、**社会の若年層の精神を惑わせて腐敗させる目的で、あらゆる階級、あらゆるレベルの社会、政府に潜入**しなければならない。
25. 国家法および国際法を利用しつつ、**ゴイムの文明を破壊**しなければならない。我々に対してゴイムが武装蜂起する前に、恐怖の組織を諸国家の各都市に組織することにいたしましょう。

ユダヤ人学者クリストファー・ジョン・ビェルクネスによれば、栄華を極めた古代イスラエルの**ソロモン王の時代、BC929年には、世界を平和的に支配する理論上の計画が作られていた**らしい。

ブログ「**隠された真実**」より